

2011年6月19日

「素晴らしい天のお父様」 マタイ 7：7～11

本日は、父の日です。お父さんたちに感謝を示しましょう。素晴らしい良い知らせ＝福音があります。

I 天と地を造られた偉大な神、正しさと聖さと愛と恵みに満ちた神ご自身が、私たちのお父様になってくださるという良き知らせです。※ここで誤解してはならないことがあります。神が父となってくさるとは、神は父親の面だけで、母親の面はお持ちでないとはなりません。神が私たちの父となられるとは、父親と母親の愛の両面を完璧にお持ちであり、変わり易い人間の愛と違い、永遠に変わらないあられる完全な愛の親として私たちを、神の子供として心から愛して下さるという事です。その条件は、何でしょう。それは、父なる神が、この世（私たち）を愛して、この世に送られた神の御子イエスを、「私の罪（不品行、汚れ、偶像礼拝、憎しみ、恨み、ねたみ等）の為に十字架で死なれ、私たちの身代わりに、すべての罪の刑罰を受けて下さり、人間が決して勝てない死に勝利され、三日目に復活された救い主、神」と信じ、心に迎え入れるなら私たちは、救われ、罪の赦しと永遠のいのちと神の子供とされる特権を与えられるのです！「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである」ヨハネ3：16。「この方（イエス様）を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神のこどもとされる特権をお与えになった」ヨハネ1：12。

II 主を信じる人々のお父様となってくさるお方は、どのようなお方でしょう。信じることや祈る事の前に、とても大切な事があります。それは、信仰する、祈る対象である神が、どのような方かを、御言葉から深く知り、静まることです。私たちの人生という旅路には、困難、問題、悩みがあります。それらを私たちは、自分の思い通りにコントロールできません。しかし、それらにどう対処するかは、主に頼って対処することができます。これが、主を信じる人々の特権です。アブラハムは、「どこに行くのかを知らないで出て行きました」（ヘブル11：8）とあります。しかし彼は、「誰といっしょに行くのかを知っていた」のです。彼はひとりではなかったのです。「わたしは決してあなたを離れず、また、あなたを捨てない」（ヘブル13：5）と語られる神が常に共におられたのです。どういう事件に会うか、どんな問題が起こるかはわかりませんが、彼は旅の道連れの方（素晴らしい神）を知っていたゆえに幸いでした。私たちの人生も同じです。どんな時にも、共におられるお方を忘れてはなりません。常に、自分の意識の中で神のことを思いたい。どんな出来事が起きても、どんな不測の事件が起きても、神は共におられ、支えて下さる。

1. 神が、私たちの父であるとは、神の子供であるわたしたちに関心を持っていて下さる、私たちのことに心を配って下さるということです。「あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配して下さるからです」I ペテロ5：7。
2. 常に私たちのことを見守って下さっています。「私の助けは、どこから来るのだろうか。私の助けは、天地を造られた主から来る。主はあなたの足をよろけさせず、あなたを守る方は、まどろむこともない。主はあなたを守る方」詩篇121：2～5。
3. 父なる神は、私たちのすべてを見、すべてを知っておられます。ですから、私たちは、自分の罪を

正直に神におわびします。Iヨハネ1：9。神は赦し、きよめて、愛してくださいます。私たちは、ときどき、自分のことは誰も理解してくれないと自己憐憫に陥ります。しかし、父なる神は、私たちのことを深く理解し（私たちが自分のことを理解している以上に）、愛し、支えて下さいます。

4. 「雀の一羽でも、あなたがたの父のお許しなしには地に落ちることはありません」マタイ10：29。私たちの身に起こる事には、私たちには、わからなくても、神の愛、意味、目的、ご計画、訓練があります。偶然や無意味なことは何一つありません。何かを学び、成長の機会となります。私は、欠点と失敗の多い父親ですが、天のお父様は、忍耐と大きな愛を持って育てて下さっています。
5. 「子が魚を下さいと言うのに、だれが蛇を与えるでしょう。してみると、あなたがたは、悪い者（心に罪がある、悪いことをしてしまう、完璧な親ではない）ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いもの（真に必要なもの）を下さらないことがありますか？」マタイ7：11。父である神は、決して悪いものを私たちに下さることはありません。真に良いものを与えて下さいます。祈り求める私たちに、父なる神は、必ず答えて下さいます。その答えには、三種類の答えがあります。①ある求めには「はい」。与えて下さいます。②ある求めには「ノー」。与えられない。後の日にその意図がわかります。神は、別のものを用意しておられます。③ある求めには「待ちなさい。あきらめずに求め続けなさい」。すぐには、与えられませんが、時満ちて、与えられます。待つことはつらいですが、待った分だけ、ありがたさ、神への感謝、主にある成長が増します。「主はあなたがたに恵もうと待っておられ、あなたがたをあわれもうと立ち上がられる」イザヤ30：18。

Ⅲ こんなに素晴らしい天のお父様に私たちは、どのように応答したら良いでしょうか。天のお父様は、私たちが、祈り求め続けることを心から喜ばれます。「求め（続け）なさい。そうすれば、与えられます。たたき（続け）なさい。そうすれば開かれます」マタイ7：7。まず神の国と神の義（神との正しい関係）、人を赦す愛、人のあら捜しをしないで人を愛する愛、日ごとの糧、真の必要の満たし、具体的な課題を祈り求めましょう。父なる神は、私たちが心から愛し、私たちとの祈りによる交わりを喜ばれます。